



2025年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 株式会社クロス・マーケティンググループ 上場取引所 東  
 コード番号 3675 URL <https://www.cm-group.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長兼CEO（氏名） 五十嵐 幹  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 小野塚 浩二（TEL）03(6859)2259  
 半期報告書提出予定日 2025年2月14日 配当支払開始予定日 2025年3月3日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年7月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期中間期	14,752	17.9	1,348	44.7	1,304	48.1	778	34.9
2024年6月期中間期	12,514	△3.7	932	△29.9	880	△30.7	577	△24.6

(注) 包括利益 2025年6月期中間期 770百万円( 33.7%) 2024年6月期中間期 576百万円(△24.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期中間期	40.79	40.50
2024年6月期中間期	30.09	29.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期中間期	16,856	7,454	44.2
2024年6月期	16,630	7,082	42.6

(参考) 自己資本 2025年6月期中間期 7,452百万円 2024年6月期 7,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	6.50	—	6.50	13.00
2025年6月期	—	7.00	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	14.6	3,000	62.7	2,900	51.6	1,800	50.9	93.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年6月期中間期	19,970,464株	2024年6月期	19,970,464株
2025年6月期中間期	1,118,401株	2024年6月期	687,401株
2025年6月期中間期	19,066,898株	2024年6月期中間期	19,162,865株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
継続企業の前提に関する重要事象等	13

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、内需拡大・インバウンド消費増加などにより、緩やかな回復が進みました。一方で、中国経済の成長鈍化や次期米国政権交代による通商政策への影響懸念、物価高による個人消費の低迷等が、国内外で多様な業種に広がる当社顧客企業の収益環境に影を落とすなど、依然として先行き不透明な状況が継続しました。

当社グループの事業領域であるデジタルマーケティング市場及びマーケティングリサーチ市場は、顧客企業によるDX（デジタルトランスフォーメーション）への旺盛な投資を背景に堅調となっており、今後も中期的な成長が予想されます。一方で、消費者の購買行動は多様化が加速しており、これに対応した消費者ニーズ調査手法の革新やプロモーション手段の進化が求められるなど、競争環境の激化が想定されます。

こうした経営環境の下、当社グループは持続的な成長を実現するため、中期経営計画の指針である「マーケティングDXパートナー」の実践へ向けた様々な取り組みを通じて、ビジネスモデルの進化とサービス対応領域の拡大を推進しました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は14,752百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益は1,348百万円（同44.7%増）、経常利益は1,304百万円（同48.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は778百万円（同34.9%増）となりました。

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	増減額 (増減率)
売上高	12,514	14,752	2,238 ( 17.9 %)
営業利益	932	1,348	416 ( 44.7 %)
経常利益	880	1,304	423 ( 48.1 %)
親会社株主に帰属する 中間純利益	577	778	201 ( 34.9 %)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (デジタルマーケティング事業)

デジタルマーケティング事業では、国内のグループ各社がデジタル領域に軸足を置き、販促支援メディアの運営、プロモーション・マーケティング支援、システムの受託開発及び保守・運用、人材供給等、DX（デジタルトランスフォーメーション）に関わる総合的なマーケティングソリューションを提供しております。

同事業の外部顧客に対する売上高は6,366百万円（前年同期比24.6%増）となりました。前連結会計年度期中に実施した株式会社トラフィックスの新規連結によるBPO領域の伸長や、事業譲受によるサードパーティロジスティクス領域の拡大などにより、メディア・プロモーションならびにITソリューションの両分野が増収となりました。

同事業のセグメント利益（営業利益）は520百万円（同76.6%増）となりました。これは、売上高拡大に伴う売上総利益の増加が主な要因であります。

## (データマーケティング事業)

データマーケティング事業では、国内外のグループ各社において、マーケティングリサーチにおけるオンライン・オフラインでのデータ収集を中心にサービスを提供しております。

同事業の外部顧客に対する売上高は5,091百万円（前年同期比26.3%増）となりました。これは、1）株式会社クロス・マーケティングを中心とする国内事業会社では、不透明な経済情勢の中でもお客様企業のリサーチ需要は底堅く、主力のオンラインリサーチの好調により増収、2）海外事業を行うKadenceグループにおいて、北米やインド拠点などでリサーチ需要が回復し増収、等によるものです。

同事業のセグメント利益（営業利益）は1,486百万円（同45.0%増）となりました。その主因は、売上高増加に伴う売上総利益増によるものです。

(インサイト事業)

インサイト事業では、国内外のグループ各社において、各種マーケティングデータの複合的な分析、消費者インサイトの発掘、レポート作成などを通じ、お客様企業のマーケティング戦略における意思決定への支援を行っております。

同事業の外部顧客に対する売上高は3,296百万円(前年同期比2.4%減)となりました。これは、1) Kadenceグループの海外拠点は主に英国におけるリサーチ需要回復により増収となった一方、2) 株式会社クロス・マーケティングを中心とする国内事業会社では、一部のオフライン調査が伸び悩んだほか、医療・ヘルスケア領域の需要減により減収となったためであります。

同事業のセグメント利益(営業利益)は456百万円(同0.9%減)となりました。これは主に、国内事業会社での売上減に伴う売上総利益の減少によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末の財政状態は、資産については、流動資産が13,085百万円(前連結会計年度末比328百万円増)となりました。主な項目としては、現金及び預金6,481百万円、受取手形、売掛金及び契約資産4,773百万円となっております。固定資産は3,771百万円(同102百万円減)となりました。主な項目としては、ソフトウェア517百万円、のれん1,105百万円、投資有価証券372百万円となっております。その結果、総資産は16,856百万円(同226百万円増)となりました。

(負債)

負債については、流動負債が6,188百万円(前連結会計年度末比320百万円増)となりました。主な項目としては、買掛金1,690百万円、1年内返済予定の長期借入金1,060百万円、短期借入金518百万円となっております。固定負債は3,214百万円(同465百万円減)となりました。主な項目としては、長期借入金2,848百万円となっております。その結果、負債は9,402百万円(同145百万円減)となりました。

(純資産)

純資産は7,454百万円(前連結会計年度末比372百万円増)となりました。主な項目としては利益剰余金が6,926百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の業績予想につきましては、2024年8月9日に公表しました連結業績予想から変更はなく、売上高300億円(前期比14.6%増)、営業利益30億円(同62.7%増)、経常利益29億円(同51.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益18億円(同50.9%増)としております。

当社の業績予想は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、季節要因等を反映して作成しております。今後、業績予想に修正が見込まれる場合には、適切に開示してまいります。

## 3. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,376,961	6,480,559
受取手形、売掛金及び契約資産	3,848,733	4,773,200
仕掛品	623,206	761,498
その他	949,899	1,113,632
貸倒引当金	△41,292	△43,434
流動資産合計	12,757,506	13,085,455
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	204,997	150,598
工具、器具及び備品(純額)	60,222	66,976
その他(純額)	5,403	4,303
有形固定資産合計	270,622	221,877
無形固定資産		
ソフトウェア	547,867	517,360
のれん	1,233,277	1,104,638
その他	72,705	59,640
無形固定資産合計	1,853,849	1,681,638
投資その他の資産		
投資有価証券	371,784	372,148
関係会社株式	97,911	103,667
繰延税金資産	422,571	430,770
その他	855,517	960,521
投資その他の資産合計	1,747,784	1,867,106
固定資産合計	3,872,255	3,770,621
資産合計	16,629,761	16,856,076

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,233,724	1,690,406
短期借入金	472,587	518,071
1年内返済予定の長期借入金	1,153,620	1,059,816
未払法人税等	558,062	549,869
賞与引当金	419,364	536,818
資産除去債務	46,958	17,480
その他	1,984,144	1,816,016
流動負債合計	5,868,458	6,188,477
固定負債		
長期借入金	3,352,252	2,847,791
役員退職慰労引当金	105,569	96,926
資産除去債務	116,030	106,917
その他	105,369	162,283
固定負債合計	3,679,219	3,213,916
負債合計	9,547,677	9,402,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	646,709	646,709
資本剰余金	540,079	551,607
利益剰余金	6,273,212	6,925,560
自己株式	△422,958	△707,674
株主資本合計	7,037,042	7,416,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,168	26,772
為替換算調整勘定	17,274	9,109
その他の包括利益累計額合計	43,442	35,881
新株予約権	1,600	1,600
純資産合計	7,082,084	7,453,683
負債純資産合計	16,629,761	16,856,076

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
売上高	12,513,962	14,752,431
売上原価	7,575,405	9,050,757
売上総利益	4,938,558	5,701,674
販売費及び一般管理費	4,006,650	4,353,491
営業利益	931,908	1,348,183
営業外収益		
受取利息及び配当金	810	2,114
持分法による投資利益	2,741	5,756
解約返戻金	—	8,000
その他	5,094	8,572
営業外収益合計	8,646	24,442
営業外費用		
支払利息	22,315	37,933
為替差損	28,526	19,576
その他	9,313	11,538
営業外費用合計	60,154	69,047
経常利益	880,400	1,303,579
特別損失		
固定資産除却損	314	14,581
特別損失合計	314	14,581
税金等調整前中間純利益	880,086	1,288,998
法人税等	303,485	511,310
中間純利益	576,601	777,688
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△46	—
親会社株主に帰属する中間純利益	576,647	777,688



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
中間純利益	576,601	777,688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,138	604
為替換算調整勘定	△15,723	△8,165
その他の包括利益合計	△585	△7,561
中間包括利益	576,017	770,127
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	577,030	770,127
非支配株主に係る中間包括利益	△1,013	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	880,086	1,288,998
減価償却費	163,987	211,889
のれん償却額	94,595	128,639
固定資産除却損	314	14,581
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△658	2,394
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55,904	117,645
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△8,643
受取利息及び受取配当金	△810	△2,114
支払利息	22,315	37,933
為替差損益(△は益)	△767	△5,731
持分法による投資損益(△は益)	△2,741	△5,756
売上債権の増減額(△は増加)	△1,524,827	△922,727
棚卸資産の増減額(△は増加)	△38,061	△152,675
仕入債務の増減額(△は減少)	581,424	455,516
その他	219,404	△190,403
小計	338,356	969,546
利息及び配当金の受取額	643	1,817
利息の支払額	△22,087	△40,466
法人税等の支払額	△594,495	△551,093
その他	△1,476	△1,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	△279,060	378,273

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,837	△21,668
無形固定資産の取得による支出	△133,726	△76,548
投資有価証券の取得による支出	△51,973	△2,800
投資有価証券の売却による収入	—	1,200
資産除去債務の履行による支出	—	△39,000
貸付けによる支出	△12,441	△18,551
貸付金の回収による収入	7,588	—
敷金の差入による支出	△5,043	△64,345
敷金の回収による収入	834	—
その他	△5,080	△5,089
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205,679	△226,800
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	16,519	61,835
長期借入金の返済による支出	△499,697	△598,265
自己株式の取得による支出	△52,972	△373,055
配当金の支払額	△114,813	△124,999
財務活動によるキャッシュ・フロー	△650,963	△1,034,484
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,554	△13,390
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,156,257	△896,402
現金及び現金同等物の期首残高	6,477,820	7,376,961
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,321,563	6,480,559

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 自己株式の取得

当社は、当中間連結会計期間において、2024年8月9日開催の取締役会決議に基づき、567,900株の自己株式を取得しました。この結果、自己株式は372,311千円増加しております。

(2) 自己株式の処分

当社は、2024年9月27日開催の取締役会決議に基づき、2024年10月25日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式141,000株を処分いたしました。この自己株式の処分により、資本剰余金が11,528千円増加し、自己株式が87,595千円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	デジタルマーケティング事業	データマーケティング事業	インサイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,107,657	4,030,096	3,376,209	12,513,962	—	12,513,962
セグメント間の内部売上高又は振替高	237,723	460,720	33,390	731,833	△731,833	—
計	5,345,380	4,490,817	3,409,599	13,245,795	△731,833	12,513,962
セグメント利益	294,527	1,024,224	460,649	1,779,400	△847,492	931,908

(注) 1 セグメント利益の調整額△847,492千円は、セグメント間取引消去△533千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△846,959千円が含まれております。全社費用等は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用等であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	デジタルマーケティング事業	データマーケティング事業	インサイト事業	合計
一時点で移転される財又はサービス	4,949,082	4,030,096	3,376,209	12,355,387
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	158,575	—	—	158,575
顧客との契約から生じる収益	5,107,657	4,030,096	3,376,209	12,513,962
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,107,657	4,030,096	3,376,209	12,513,962

当中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	デジタルマーケティング事業	データマーケティング事業	インサイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,365,786	5,090,863	3,295,782	14,752,431	—	14,752,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	391,541	483,969	32,832	908,342	△908,342	—
計	6,757,326	5,574,832	3,328,614	15,660,773	△908,342	14,752,431
セグメント利益	520,255	1,485,623	456,436	2,462,315	△1,114,132	1,348,183

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,114,132千円は、セグメント間取引消去△4,545千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△1,109,587千円が含まれております。全社費用等は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用等であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	デジタルマーケティング事業	データマーケティング事業	インサイト事業	合計
一時点で移転される財又はサービス	6,292,920	5,090,863	3,295,782	14,679,566
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	72,865	—	—	72,865
顧客との契約から生じる収益	6,365,786	5,090,863	3,295,782	14,752,431
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,365,786	5,090,863	3,295,782	14,752,431

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。